



## 2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月26日

上場会社名 アシードホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 9959 URL <https://www.aseed-hd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河本 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営企画グループ (氏名) 川崎 弘敬

TEL 084-923-5552

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	7,030	2.2	341	62.7	325	64.2	200	37.6
2019年3月期第1四半期	7,189	1.5	210	20.8	198	18.7	145	4.7

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 193百万円 (55.0%) 2019年3月期第1四半期 124百万円 (12.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	16.18	
2019年3月期第1四半期	11.75	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	15,039	5,022	33.4	405.68
2019年3月期	14,766	4,891	33.1	395.08

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 5,022百万円 2019年3月期 4,891百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		5.00		5.00	10.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		6.00		6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,900	1.3	610	20.3	630	19.4	420	12.1	33.93
通期	28,300	1.2	800	19.3	840	16.1	560	11.6	45.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	13,495,248 株	2019年3月期	13,495,248 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	1,115,225 株	2019年3月期	1,115,225 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	12,380,023 株	2019年3月期1Q	12,380,047 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善により企業の生産活動に持ち直しの動きが見られる一方、米中の貿易摩擦や今秋の消費税引き上げなど、国内経済への影響が懸念され、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは中期的な経営戦略として掲げる「需要創造と収益性向上への事業構造の転換」「サービスとビジネスモデルの変革と開発」により、競争優位性を確立し、すべてのステークホルダーから信頼と支持が得られる企業グループを目指しております。具体的には企業のレゾン・デトル（存在根拠）が高まるように、社会変化に対応した製品・サービスを提供する「飲料製造リテイル事業」（SPA）への選択と集中を推進しております。一方、飲料製造事業ではヘルスケア分野をターゲットにソフトパウチ飲料の生産を強化し、飲料ビジネスの更なる拡大を図りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高7,030百万円（前年同四半期比2.2%減）、営業利益341百万円（同62.7%増）、経常利益325百万円（同64.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益200百万円（同37.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載しております。

## ① 自販機運営リテイル事業

自販機オペレーター（運営リテイル）業界におきましては、自販機ロケーションや設置台数の飽和状態が続くなか、業種・業態を越えた競争の激化による収益性の低下に加え、人手不足や採用難を背景とした人件費及び物流費の上昇により事業環境は依然として厳しい状況にあります。

このような状況のもと、当社グループでは缶・ペットボトル飲料自販機にカップコーヒー自販機及びフード等の自販機をセットで展開する「スマートストア」の推進を図りました。スマートストアにつきましては、様々な実証実験を重ねながら、ライフスタイルの変化に柔軟に対応する社会インフラへと進化させてまいります。特に、環境問題となっている過剰設置の自販機をワンストップで機能する「アシード自販機」1台に集約することを推進してまいりました。また、利用者の利便性向上とキャッシュレス化の推進を図るため、電子マネー対応自販機の設置も進めております。

この結果、自販機運営リテイル事業の売上高は3,847百万円（前年同四半期比3.0%減）、セグメント利益は51百万円（同2.2%減）となりました。

## ② 飲料製造事業

飲料のブランドオーナーに対し製品の企画・デザインから製造までを一貫して提案するODM（Original Design Manufacturing）が引き続き好調に推移し、高い成長が続くRTD（低アルコール飲料）と稼働2年目となるソフトパウチ飲料が牽引し、製造数量（ケース数）は前年同四半期比4.9%増となりましたが、戦略的な売上構成比の変更によって、売上高は微減しております。今後はヘルスケア市場をターゲットに大手小売企業へのODM提案を強化するとともに、自社オリジナル商品の開発を進めてまいります。

この結果、飲料製造事業の売上高は3,120百万円（前年同四半期比1.1%減）、セグメント利益は376百万円（同59.7%増）となりました。

## ③ 飲料サービスシステム事業

主要販売先であります遊技場業界は、射幸性の強い機種種の撤去に加え、受動喫煙問題など引き続き厳しい事業環境にあります。このような状況のなか、店内のお客様に本格コーヒーを景品として提供する「アオンズ・カード」の導入に注力いたしました。

この結果、飲料サービスシステム事業の売上高は31百万円（前年同四半期比19.9%減）、セグメント利益は2百万円（同37.6%減）となりました。

## ④ 不動産運用事業

不動産運用事業による売上高は31百万円（前年同四半期比2.9%増）、セグメント利益は45百万円（同1.4%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は6,182百万円となり、前連結会計年度末に比べ337百万円増加いたしました。これは現金及び預金の増加36百万円、受取手形及び売掛金の増加67百万円、商品及び製品の増加175百万円及び前払費用の増加60百万円等によるものです。また、固定資産は8,857百万円となり、前連結会計年度末に比べ63百万円減少いたしました。これはリース資産(純額)の増加49百万円、投資有価証券の減少54百万円及び長期前払費用の減少61百万円等によるものです。

この結果、総資産は15,039百万円となり、前連結会計年度末に比べ273百万円増加いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は7,934百万円となり、前連結会計年度末に比べ191百万円増加いたしました。これは買掛金の増加211百万円、未払金の増加81百万円、未払法人税等の減少60百万円、未払消費税等の減少57百万円及び賞与引当金の減少61百万円等によるものです。また、固定負債は2,082百万円となり、前連結会計年度末に比べ49百万円減少いたしました。これは長期借入金の減少82百万円及びリース債務の増加33百万円等によるものです。

この結果、負債合計は10,017百万円となり、前連結会計年度末に比べ142百万円増加いたしました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は5,022百万円となり、前連結会計年度末に比べ131百万円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益による増加200百万円及び剰余金の配当による減少61百万円等によるものです。

この結果、自己資本比率は33.4%(前連結会計年度末は33.1%)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、関東地方を中心とした記録的な日照不足や、今秋の消費税引き上げにともなう個人消費への影響などにより、飲料ビジネスを取り巻く環境はより一層厳しくなることが予想されます。

このような事業環境の中、引き続き収益性に重点を置いた事業構造改革を着実に進めるとともに、天候や季節等による飲料の需要変動を柔軟に吸収する生産体制の構築を進めてまいります。

連結業績予想につきましては、2019年5月9日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,192,160	1,228,698
受取手形及び売掛金	1,887,685	1,955,249
商品及び製品	1,538,789	1,714,088
原材料及び貯蔵品	179,494	206,029
前払費用	409,347	469,784
その他	646,474	617,669
貸倒引当金	△9,217	△9,447
流動資産合計	5,844,734	6,182,072
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,108,522	1,090,189
機械装置及び運搬具(純額)	1,119,324	1,095,791
工具、器具及び備品(純額)	23,693	29,703
土地	3,580,514	3,580,963
リース資産(純額)	1,067,907	1,117,892
建設仮勘定	4,835	9,291
有形固定資産合計	6,904,798	6,923,831
無形固定資産		
のれん	44,950	41,600
リース資産	21,449	19,743
その他	64,100	75,078
無形固定資産合計	130,500	136,422
投資その他の資産		
投資有価証券	602,478	548,098
長期貸付金	7,715	7,397
長期前払費用	709,589	648,124
繰延税金資産	153,622	171,685
その他	599,208	608,368
貸倒引当金	△186,030	△186,019
投資その他の資産合計	1,886,584	1,797,654
固定資産合計	8,921,883	8,857,908
資産合計	14,766,617	15,039,981

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,613,249	2,824,363
短期借入金	2,100,000	2,090,000
1年内返済予定の長期借入金	536,609	496,609
リース債務	384,121	397,812
未払金	794,231	875,666
未払法人税等	194,114	133,128
未払消費税等	180,206	122,980
賞与引当金	125,152	63,481
その他	815,309	930,589
流動負債合計	7,742,994	7,934,630
固定負債		
長期借入金	885,701	803,022
リース債務	795,457	829,314
再評価に係る繰延税金負債	34,464	34,464
役員退職慰労引当金	104,975	104,975
退職給付に係る負債	122,858	126,076
資産除去債務	2,800	2,800
その他	186,071	182,209
固定負債合計	2,132,328	2,082,862
負債合計	9,875,323	10,017,492
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	798,472	798,472
資本剰余金	1,012,778	1,012,778
利益剰余金	4,213,345	4,351,717
自己株式	△588,250	△588,250
株主資本合計	5,436,345	5,574,717
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△43,366	△53,262
土地再評価差額金	△490,212	△490,212
為替換算調整勘定	△11,722	△8,917
その他の包括利益累計額合計	△545,302	△552,393
新株予約権	251	164
純資産合計	4,891,294	5,022,488
負債純資産合計	14,766,617	15,039,981

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	7,189,048	7,030,396
売上原価	4,735,691	4,493,956
売上総利益	2,453,357	2,536,440
販売費及び一般管理費	2,243,294	2,194,702
営業利益	210,062	341,737
営業外収益		
受取利息	300	428
受取配当金	3,166	3,476
不動産賃貸料	1,645	2,079
受取賃貸料	3,216	2,488
その他	11,181	8,231
営業外収益合計	19,510	16,703
営業外費用		
支払利息	15,837	13,162
持分法による投資損失	8,351	10,407
その他	7,202	9,542
営業外費用合計	31,391	33,113
経常利益	198,182	325,328
特別利益		
固定資産売却益	43,824	1,185
特別利益合計	43,824	1,185
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	0	10,567
特別損失合計	0	10,567
税金等調整前四半期純利益	242,007	315,945
法人税、住民税及び事業税	88,362	131,074
法人税等調整額	8,126	△15,400
法人税等合計	96,488	115,673
四半期純利益	145,518	200,272
親会社株主に帰属する四半期純利益	145,518	200,272

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	145,518	200,272
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,198	△9,895
為替換算調整勘定	114	—
持分法適用会社に対する持分相当額	△13,773	2,804
その他の包括利益合計	△20,857	△7,090
四半期包括利益	124,661	193,181
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	124,661	193,181

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造 事業	飲料サービス システム事業	不動産運用 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,964,982	3,154,107	39,002	30,955	7,189,048	—	7,189,048
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,499	107,860	381	41,095	157,837	△157,837	—
計	3,973,482	3,261,968	39,384	72,050	7,346,885	△157,837	7,189,048
セグメント利益	52,376	236,013	4,307	46,171	338,868	△128,805	210,062

(注) 1. セグメント利益の調整額△128,805千円には、セグメント間取引消去4,610千円、のれんの償却額△2,507千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△130,908千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造 事業	飲料サービス システム事業	不動産運用 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,847,019	3,120,302	31,226	31,848	7,030,396	—	7,030,396
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,031	70,336	346	38,516	119,231	△119,231	—
計	3,857,050	3,190,639	31,573	70,365	7,149,628	△119,231	7,030,396
セグメント利益	51,210	376,980	2,688	45,539	476,418	△134,681	341,737

(注) 1. セグメント利益の調整額△134,681千円には、セグメント間取引消去269千円、のれんの償却額502千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△135,453千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。